

保健センターだより

日本脳炎予防接種の 推奨を中止します

厚生労働省から、日本脳炎予防接種の市町村による推奨を中止する緊急勧告が出ました。

今回の措置は、昨年発生した、重症の「急性散在性脳脊髄炎（ADEM）」と予防接種との因果関係が否定できないことを重く見たためです。今後の日本脳炎予防接種は、次のとおり取り扱います。

◎対象 定期的な予防接種対象者のうち日本脳炎に感染する恐れの高い人
例：流行地（極東から東南アジア）へ海外旅行を予定している人や蚊にさされやすい環境にある人

◎条件 保護者が日本脳炎の予防接種を受けさせることを特に希望する場合で、医師の説明を十分に受け、同意書を提出すること。（接種費用は無料）

※日本脳炎ウイルスは、豚から「コガタアカイエカ（蚊）」によって媒介される感染症です。人から人への感染がなく、蚊の駆除も進んでいるため、患者数が激減しています。そのため、予防接種を中止しても患者は増えないと判断しています。

7月から旧東予・周桑地区での 平日夜間救急が当番制になります

旧東予・周桑地区の救急時の診療は、7月1日から平日の夜間（18時～22時）も各病院や医院が当番で実施することになりました。

◎当番病医院の診療科・時間等

・平日夜間（月曜～土曜）
病医院 内科または外科系のいずれか1医療機関
時間 18時～22時

※以前から実施している休日（日曜・祝日）当番病医院は、今後も引き続き実施します。

病医院 内科、外科系の2医療機関
時間 9時～18時

当日の当番病医院はテレホンサービスでお知らせしています。また、各病院や医院には1カ月間の当番病医院一覧表を掲示していますので、ご確認ください。

◎テレホンサービス TEL0897-58-2200

外来受付



■新西条食品衛生協会を設立

食品に起因する伝染病、食中毒その他の危害の発生を防止することなどを目的に、新西条食品衛生協会設立総会が開催されました。

総会では、食品衛生の自主管理体制の確立や地産地消の啓発などの重点目標、市民への食品衛生相談事業などが決定されました。



▲設立総会の様子

ご注意ください。

食中毒が発生しやすい季節になりました

例年、7・8月は高温多湿となり、食中毒が多く発生しています。食中毒防止の3原則を守り、食中毒のない快適な夏を過ごしましょう。

■つけない（清潔にする）

- ・まな板や包丁、ふきんの殺菌
- ・石けんで、こまめに手洗い



■やっつける（加熱する）

- ・肉や魚、卵などの生ものや作り置き食品の温めおしは、充分加熱しましょう。



食中毒防止の3原則

■増やさない（迅速に冷蔵）

- ・食品は常温で置かず、すぐに冷蔵庫・冷凍庫で保存（食中毒菌の多くは10度以下で増殖がゆっくりになり、-15度で増殖が止まります）
- ・解凍した食品の再冷凍はやめましょう（食中毒菌増殖の危険があります）

